

令和 6 年 7 月 22 日

関係者各位

令和 6 年度・学校関係者評価委員会

学校法人高知理容美容学園
高知理容美容専門学校

高知理容美容専門学校評価委員会は、令和 5 年度自己評価報告書に基づいて学校関係者による評価委員会を開催致しました。

教育内容および関係業務の現状を点検して、更なる改善、向上を図っていくために自己点検・自己評価に取り組み、学校評価報告書として取り纏めました。その報告書をもとに学校関係者評価委員の方々との具体的な意見交換を通して、本校の教育活動等について検証・評価及び助言等いただきましたので、以下の通り報告致します。

1. 日時 令和 6 年 7 月 22 日（月） 9 時 30 分～10 時 30 分

2. 場所 高知理容美容専門学校 本館 1F

3. 学校関係者委員（敬称省略）

今城 美紀	美容店経営（地域代表）
高橋 芳太郎	美材商（関連業界）
脇田 真司	訪問美容経営（関連業界）

4. 学校側

校長	近藤 邦夫
事務長	増田 栄司
理容科長	清藤 千秋
美容科長	高野 敏彰
美容科主任	斎藤 千里

5. 委員会次第（概要）

- ①開会
- ②委員長（議長）選出・進行
- ③学校長挨拶（学校を取巻く現状など）
- ④学校長より本会開催についての説明

6. 実施内容

本会の開会宣言があり定刻に開会した。

会次第に沿って、委員長である校長、教務科長から事業報告に続いて各自己点検項目について評価、改善点等を説明しました。各外部委員には、事前に自己点検・評価報告書及び学校評価に関する資料等を配布させていただいた上でご意見をいただき、取り纏めを致しました。校長他の担当より(1)～(10)のポイントを中心に説明を行いました。

7. 学校関係者評価委員からの助言等

(1) 教育理念・目標

(1-2)

本校の職業教育の特色に関しては、国家試験に全員合格をしてもらうことが大きな目標ではあると同時に、一人ひとりが将来の職業に繋がる技術や知識を修得して、社会人としての自覚を備えた理・美容師になってもらいたい思いで、職業実践授業を積極的に進めている。

また、近年はスタイリスト、アイリスト、ネイリスト、カラーリストなど将来の職業選択が多様化してきたこともあり、二年次の選択コースを3コースから5コースに増やして多様なニーズに対応できるようにしている。【委員了承】

(1-3)

高知県自体の少子高齢化スピードが想定以上に早いこともあり、10年後、20年後の学校の姿をなかなか描くことが難しくなってきましたが、学校、学科の在り方については、若者等の動向も踏まえながら早めの対応をしていきたいと考えている。

【委員了承】

(2) 学校運営

(2-1)

毎年、学校運営に関して「学校運営計画」を策定、全般について、運営のポイントを教職員と共有化を行っている。【委員了承】

(2-5)

課題として、学校の諸規程について見直しなど進めている中で、権限規程を含めた校務分掌規程もなく、業務についての責任が曖昧となっています。業務効率化を進めると同時に順次改善していく方針です。【委員了承】

(3) 教育活動

(3-4、5)

国家試験全員合格が一つの大きな目標ではあるが、関連業界と連携した実践的な授業を通して、一人ひとり強みを付けれるように取組みをしている。

また、最近、美容科の入学者の傾向として、将来の仕事の捉え方が「美容師」という一括りではなくて、美容師資格は必要だが、アイリストであったり、ネイリストであったり、エステティシャンであったり多岐にわたってきた傾向にある。【委員了承】

(3-7、8)

現在、「第三者評価機関」の評価体制をとってはおりませんが、学校関係者評価委員会、教育課程編成委員会において外部委員の方々から各論のご意見を頂戴しながら授業改善に向けて取り組んでいます。外部関係者からの評価については、実務体験として、1年次にサロン実習を60時間行ない、評価を頂いて今後に生かしている。

【委員了承】

(4) 学修成果について

(4-1)

就職に関しては、校内説明会3回、外部説明会1回のサロン説明会に参加させることで意識付けを行い、就職希望者100%の内定を目指しています。【委員了承】

(4-3)

各種の資格検定等の取得については1年次から積極的に学習機会を作って、各種の資格検定取得に向けて取り組んでいます。【委員了承】

(4-3)

学校経営に影響する重要なテーマである「休退学問題」に関しては、日々の学生の状況把握に努めながら、これからの1年間、2年間、将来の目標について、担任による一人ひとりの面談を通して意識させる、そしてそれに向かって取り組ませるように取り組んでいます。また、保護者との連携も重要で、日々何かあれば共有化していくことで、休・退学防止に努めています。

日々の登校に問題がある学生も散見されるが、一人ひとりに目標をしっかり持って学校生活をおくるようにコミュニケーションをとっています。【委員了承】

(5) 学生支援

(5-3)

経済的な支援体制に関しては、本校が文部科学省の「高等教育修学支援制度」の認定校であり、在校生は給付型奨学金を受けることができますが、近年、特に高まってきているのが奨学金利用率です。全体の6~7割の学生が奨学金を利用している状況であり、入試制度のほか一人生活応援制度など学費減免制度の充実を図っている。

【委員了承】

(6) 教育環境について

建物やその他設備等については、経年劣化してきており毎年、計画的に対処している。防災に関しては、学生含めた防災訓練は、毎年1・2年生合同で行っている。只、有事想定の実業継続計画(BCP)の策定などまだ課題があります。

【委員了承】

(7) 学生の受け入れ募集

学生募集に関しては、高知県内の18歳人口の減少が学校経営に大きく影響しはじめている。学校種によっては減少傾向が止まらず顕在化している。高知県内の学校説明会など年間50回程度の参加により、現状は堅調に推移している。

【委員了承】

(8) 財務

- ・財務状況は学生募集により大きく変動するが、最近是比较的安定した学生募集の実績を残せており財務面も安定基調にある。
- 又、教職員の適正化についても、学生数とのバランスが図れてきた。

【委員了承】

(9) 法令等の遵守

専門学校設置基準、理容師・美容師養成施設指定規則など関係法令を遵守、共有化して適正に運営を行っているが、まだ業務に関する法令等を理解していない状況も散見されるので、足元を固めるための職場研修を進めて行きたいと考えている。

【委員了承】

(10) 社会貢献・地域貢献

ボランティア活動は教育活動の一環として実施していきたいと考えている。新型コロナウイルス感染拡大が落ち着いた段階で実施したい。学生アンケートでも半数の学生はボランティア活動を希望している。

【閉会】

終わりに、校長から各委員へ貴重なご意見、助言に対してお礼の挨拶を申し上げ、
本会閉会宣言があり本会を閉会した。